

外国人留学生の就職支援に関する事例紹介

—活動の流れに沿った支援と指導実践—

Examples of Employment Support for International Student:

Support and Instruction along the Flow of the Activity

宇都宮大学大学院 工学研究科 堀尾 佳以

HORIO Kei

(Lecturer for International Student, Faculty of Engineering, Utsunomiya University)

キーワード：外国人留学生フォローアップ、エントリーシート指導、面接指導

0. はじめに

留学生 30 万人計画で外国から優秀な人財¹が来日する一方で、大学や大学院を出た後の外国人留学生の就職支援および指導法に関しては現在もまだ黎明期である。

2008 年から北見工業大学にて札商アジアブリッジプログラム²に携わってから外国人留学生がどのように就職活動を進めていけば良いのか、どのようなサポートを必要としているのかといったことを明らかにしたいと考えるようになった。

そこで本論では、外国人留学生のための就職活動支援について、特に実践的な就職サポートと、それに付随する様々な問題について考察する。

1. 目的と意義

外国人留学生就職活動支援の目的は、高等教育機関で育てた外国人留学生が日本企業に就職し、「グローバル人財」となるための支援である。では、大学でどのような支援が必要とされ、どうすれば効

¹ 従来は「人材」であるが、人も「財産」であるという立場から本研究では「人財」と表記する。

² 札幌商工会議所が中心となり、北海道の国際化のため、留学生の道内企業への就職支援などを推進している。<https://www.sapporo-cci.or.jp/content/details/business/2012/03/post-32.html>

果的なサポートが行えるのだろうか。

また、就職活動を通して情報収集などの方法や企業文化を学ぶだけでなく、友人を作り、支え合う大切さなどについても知ることが出来る。そのためにも、就職活動を個人で行うのではなく、大学などのサポートにより学びあう機会を作り切磋琢磨する場を提供し、外国人留学生の成長にも繋がれるところに意義がある。

2. 支援内容

外国人留学生が就職活動をしたい、と言った際に支援する内容は大きく3つである。「情報収集」と「日本語指導」、そして「精神面でのサポート」だ。

まず、日本で就職する際の活動方法について、官公庁の支援がある。例えば、日本学生支援機構は毎年「外国人留学生のための就活ガイド³」を発行している。また、各大学で実施している日本人と一緒にイベントやサポートの情報を提供する。さらに、外国人留学生に特化した講座など様々な取り組みがある。

次に、実際の就職活動で使用する日本語に関する指導がある。従来の日本語教育の現場で「ビジネス日本語」として取り扱ってきたものは、日本語教師による面接の受け方や作文添削などであった。そこで、もう一步踏み込んで内定獲得のための指導について考えていく。

学生の就職活動に関する支援を無料で実施しているJobwebなど民間企業も存在しているが、日本人・外国人留学生どちらも支援しているものと、外国人留学生向けのものがある。特にJABOON⁴など外国人留学生向けは、日本語の添削⁵もしてくれるが、やはり単なる日本語文法の間違いだけでなく、内容についてどのように書くかといった具体的な指導をすることで、より良いものが書ける。

最後に「精神面でのサポート」だ。外国人留学生に限らず、日本人学生であっても、いわゆる「お祈りメール⁶」を受け取ると精神的に落ち込む。一般的にやる気が起きるものとして「エントリーシート(=ES)⁷通過」や「最終面接」がある。反対に落ち込むものとしては、「初めてのお祈りメール」があり、「友人に内定が出た」といった周りの状況変化や「最終で落ちてしまう」といった点が挙げられる。

³ <http://www.jasso.go.jp/job/>

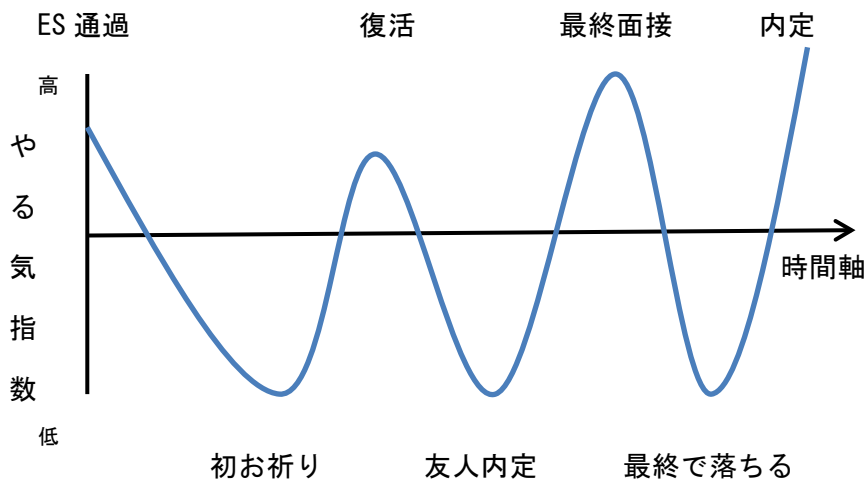
⁴ <https://www.jaboon.com/modules/news/index.php?page=article&storyid=43>

⁵ エントリーシート添削道場 <http://ameblo.jp/dotconnector/entry-11404526781.html>

⁶ 「お祈りメール」とは就職活動で使われる用語で、選考に落ちた際、企業から送られてくる「残念ながら貴意に添いかねる結果となりました。末筆ながら貴殿のご多幸をお祈りしております。」といったメールを指す。つまり、選考に落ちたという意味である。

⁷ ESともいう。本論ではエントリーシート、およびES両方を使用。

図1 やる気指数の変化とイベント



支援を始める前に、就職活動について外国人留学生の「覚悟」を聞くことにしている。理由は「内定が貰えなければ大学院に進学すればいい／帰国する」という外国人留学生もいるからである。しかし「日本で絶対に就職する」という姿勢で臨む外国人留学生と複数の選択肢を作っている外国人留学生とでは結果に差が出るようだ。そのため本学で外国人留学生が進学か就職を迷っている場合は、金銭的な問題がないのであれば進学を勧めている。「就職できなかつたら進学」という考えで就職活動を行うと、精神的なダメージがあった場合に「進学」に切り替えてしまう可能性がある為、最初に心構えをしておくよう促す。就職活動に臨む覚悟をしておけば、落ち込むことはあっても投げ出さずに再挑戦することが出来る。

3. 指導方法

就職活動をしていく上で日本語指導が必要なものは、具体的に「エントリーシート」および「面接」である。日本語の文法や語彙について訂正するだけではないため、それぞれの項目に分け、指導例を挙げながら検討していく。

3.1 エントリーシート

就職活動を始めるにあたり、まずエントリーシートを通過させる必要がある。このエントリーシートを自力で書かせると添削が大変なことになるので、あらかじめ「書き方」を指導する必要がある。

特に苦労するのが「学生時代に頑張ったこと」「乗り越えた困難とその方法」といった、実際の経験とエピソードを書くものである。自分の経験の中でどのようなことがあるかを尋ねると、たいていの外国人留学生は「無い」と答える。また、あったとしても研究やアルバイトについて書きたがる。

しかしエントリーシートで企業が見たいものは、就活生の考え方や成長過程であろう。つまり、相

手（企業）が求めているものを書く必要があり、自分が書きたいことだけを書いたのでは通らない。この点を伝えることが重要になる。特にその傾向が現れるのが「趣味」の項目であろう。趣味の欄に何を書くのかまで指導するのかという考え方もあるかもしれないが、小さなことであっても申請者（外国人留学生）の良さをアピールするためにフル活用したい。

外国人留学生にとっては日本語で作文を書く難しさに加え、求められている内容に合わせたエピソードと自分の成長を書かなければならず、かなり難しい。日本人学生と同じ土俵で戦うためには、前もって準備する必要があるだろう。例年、企業が出しているエントリーシートを見てみると、個性的な内容も散見されるものの、一般的に共通した問題が多い。そこで、前もって

1. 大学所定の履歴書
2. 学生時代に頑張ったこと：具体的なエピソード 【400字程度】
3. あなたを物に例えると
4. 長所、短所 【＝自己分析】
5. 最も困難だったことと、乗り越えた経験

などについて、あらかじめ考える機会を作るとともに、就職活動が本格化する前に書いて準備しておくが良い。3. の実際の例⁸を1-1と1-2に示す。

例 1-1 「ものに例える」日本語添削

自分が僕はまぼ—麻婆豆腐だ—と思ってる。
 今まで私のことを嫌いになって喧嘩したことない
 人はいなかった。実家のモンゴル人でも、大
 学の時の中国人でも、今の日本人でも仲良くだ
 している。今までいろいろのなところでバイトを
 したことがあるが、ラーメン屋、焼肉、コンビニ、
 家庭教師などでも、周りの人の中で中国人の印
 象がを上げるとこことができた。宇都宮大学
 に入りたい友達に数学を教えた。普段楽しみ
 にく遊んでいるほどが、ちゃんと計画を立てて、
 厳しく教えた。最初はあまり喜んでいなかったほ
 どが、結果が出たとき、私にすごく感謝され
 た。食べたひとは感動して泣くようなおいしい
 いまぼ—麻婆豆腐—になりたい。

例 1-2 「ものに例える」最終版

僕は「麻婆豆腐」だ。

①理由は麻婆豆腐が嫌いな人はいないから
 だ。これまで内モンゴルの人々、大連の漢民
 族、そして今周りにいる日本人、誰とでも仲良く
 してきた。

②例えば仲の良い友人に数学を教えた時、計
 画を立てて厳しく教えた。友人も、最初はあまり
 良く思っていなかったようだが大学院の試験に
 合格し、感謝された。

③最初は辛いと思うが後で好きになって、また
 食べたいと思う、「豆腐料理の中で一番美味し
 い」麻婆豆腐。食べた人が感動して泣くほどに
 美味しい「麻婆豆腐」のような人になりたい。

⁸ 堀尾(2012)「留学生の就職活動支援 -導入教育における活動方法指導および実践-」に詳しい。

例1-1のように、文法的・語彙的な間違いを訂正するだけでなく、伝えたい内容の整理が必要になってくる。しかし、ここまでは「作文指導」であり、自己分析を深めて「社会人基礎力」のいずれかをアピールできる文章にすることが例1-2である。ここまで指導することで「就職活動支援」となる。

3.2 面接

エントリーシートが通過すれば、いよいよ面接である。ここで、身だしなみやノックの仕方等も教えるが、一番重要なのは面接での受け答えの仕方である。

外国人留学生の中には日本語が苦手な学生もいるが、面接で聞かれる質問は、ある程度予測できる。そこでまずは質問に対してどう答えるかを書かせ、添削した上で覚えさせる。その後、実際の面接会場を想定して練習を行う。

工学研究科での指導経験から、理系の大学院生の場合、「人事」の次が「技術」で「最終」に進むという流れが一般的なようだ。実際の面接の流れに従って、指導内容を概観する。

3.2.1 人事面接（一次）

エントリーシートやWeb Testによって書類選考が行われた後、初めての面接のために入室の仕方や挨拶、椅子の座り方などを指導する。しかし、面接練習で本当に必要なのは「咄嗟のひとこと」や「難しい質問への返答」について、日本語で論理的に述べられる力をつけることである。

そこで練習する際に、まず全体の流れをつかむ。そして外国人留学生同士がお互いに面接官や学生となり自分がどう見られているのかを知る（図2）。

ただし、全員一緒に指導するのはここまでで、助詞の使い方や表現、発音など日本語に関する訂正は個別指導が効果的である。

図2 面接練習の様子



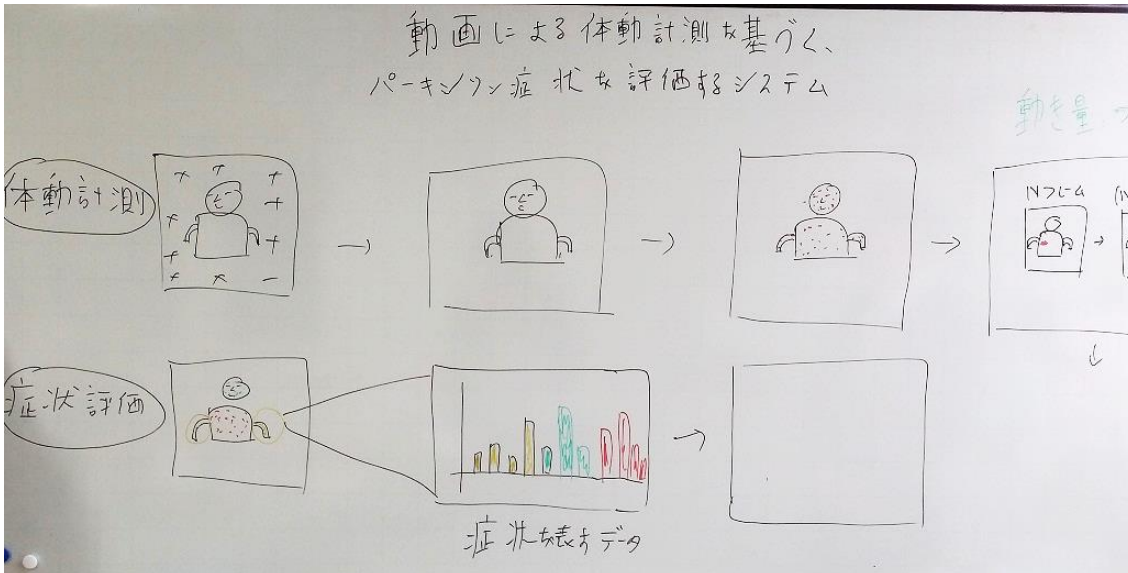
3.2.2 技術面接（二次）

理系の、特に大学院生の場合、二次面接では自身の研究内容について15分程度のプレゼンをして欲しいと企業から連絡がある。これまでの傾向から、どの分野でもホワイトボードを使用して説明をする、というのが一般的なようだ。外国人留学生から相談を受けると、まずは自分でどのようにアピールするのかを考えてくるように伝える。その理由は、「自分が伝えたいこと」や「内容の理解度」を把

握させ、どのように見せたいかを知るためである。

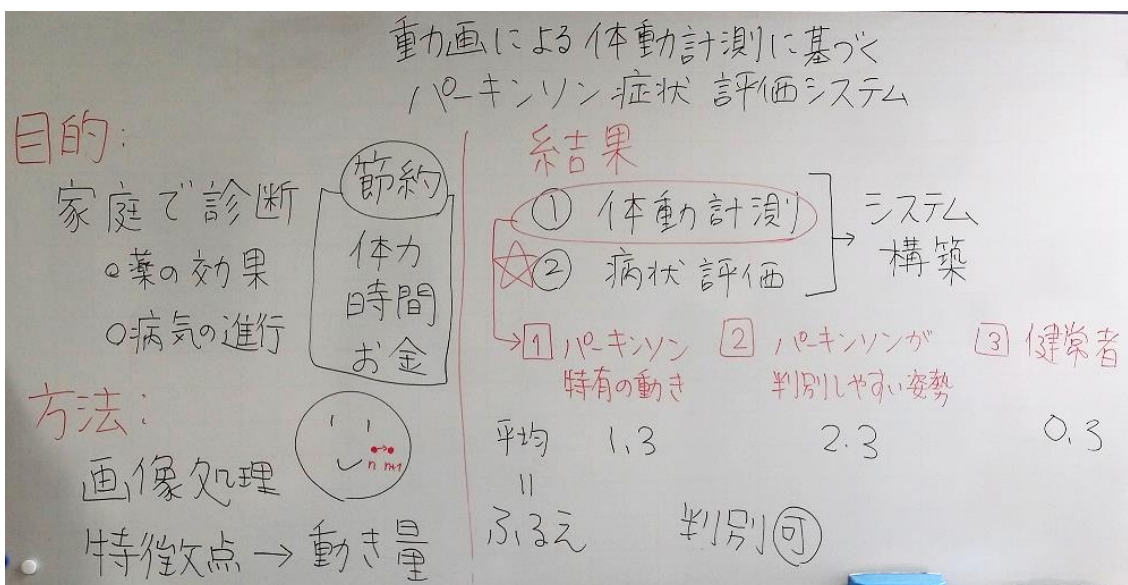
2015年卒の情報専攻の学生が書いた1回目のプレゼンが次の例2-1である。

例2-1 外国人留学生によるプレゼン(案)



この例2-1を見ると、図は書いてあるが必要な情報はほとんどない。外国人留学生の個性もあるだろうが、企業側に伝えなければならないのは、研究の「目的」、「実験方法」そして「結果」である。その伝えるべき内容を吟味し、話し合った上で例2-2のようにまとめた。

例2-2 技術面接のプレゼン最終案



ホワイトボードに何を書くのか計画を立て、どのようにプレゼンを進めるのかを何度も確認し、自信を持って本番に臨めるよう準備した。

3.2.3 最終面接

いよいよ最後だが、最終面接に進めたからといって、必ず内定を得られるという訳ではない。最後の難関こそ外国人留学生個人の良さをアピールする場であり、一緒に働きたいと思って貰えるかどうかの分かれ目である。

これまで指導してきた外国人留学生達からの情報によると、外国人留学生向けでは「母国にいつ帰国するのか」「海外勤務で、母国・日本以外の国に行くのは問題ないか」といったことを聞かれるようだ。

正直に「3年後に帰国したい」と答えた外国人留学生が何社も落ち続けたのは、日本企業が社会人として「人財を育てる」からであろう。では、どう答えれば良いのか、という疑問が出てくる。面接練習でも外国人留学生の答えを聞いて一緒に考えるようにしている。

最後の最後は、いわゆる「逆質問」だ。外国人留学生側から企業に聞きたいことを尋ねるチャンスである。ここで外国人留学生達に注意するのは、企業側が企業説明会やインターネット等で公表しているデータについて質問しないことである。基本的なことであるが、「母国に研究所があるかどうか」と質問する外国人留学生がいるが、海外拠点等は情報開示されていることが多く、質問してしまうことで企業研究不足が露見してしまう。その他にも、「グローバル人財としてどう働くか」といった抽象的な質問をするよりは、「グローバル人財として働くために準備しておいた方が良いことを教えて欲しい」と言った外国人留学生は内定を得られた。

「逆質問」だからといって必ず質問する必要もなく、「質問は無いが伝えたいことがある」と、自分の情熱を訴えた外国人留学生も内定を獲得した。つまるところ、外国人留学生の意気込みと物事に対する前向きな姿勢を評価されるのであろう。

3.3 その他の注意事項

以上のように、エントリーシートや面接対策のサポートにも様々な種類があり、指導にあたる教員も常に情報を更新しなければならない。だが、外国人留学生にとっては自国と日本の文化の違いについても教えておく必要がある。その中でも「時間」「スケジュール管理」「金銭面」でのアドバイスは重要となる。

3.3.1 時間

外国の方々が「日本は時間に正確だ」と言うが、就職活動も例外ではない。むしろ、時間を守れる

かどうか、審査の対象になっているようである。遅刻厳禁で、集合時間の30分前には到着しておくように指導する。これはある外国人留学生が企業でWeb Testを受験した際、遅刻して面接に進めなかった。テストはよくできたと考えていたため人事に問い合わせたところ、遅刻が原因の一つであることを教えて貰えた。この外国人留学生はそれ以降、30分前までに行くようになった。このように日本では時間を厳守することが大変重要であることに気付かせたい。

3.3.2 スケジュール管理

就職活動をする時に必要となるのが、スケジュール管理ができるツールである。手帳でもWeb上のカレンダー機能でもかまわないが、エントリーシートの提出締切や面接をいつ、どのように入れるかといったマネジメント力も必要となってくる。

そこで、先輩外国人留学生が作成してくれた情報管理の方法を紹介する。

例3 エントリーした企業の情報管理一覧

ES提出	企業名	ES締切	Web Test種類	My Page URL ID / Password
3.16	ES後 Honda	3.16 17:00	Web Test	https://r-ship2.jp/2013/honda/welcome/
3.18 19:00	トヨタ	3.18 17:00	テストセンター	http://toyota-saiyo.com/tech/index.html
2.13	ANA パイロット	2.15(パイロット)		https://bbaxol.jp/13/s/ana/mypage/login
3.12	ANA 技術	3.13(必着)		https://bbaxol.jp/13/s/fhi/mypage/login
2.21 2.23(締切)	SUBARU	2.20(必着)		https://www.sony.co.jp/SonyInfo/jobs/newpage/top.html
3.7 3.8 15:00	SONY	3.8 15:00	Web Test	http://entry.panasonic.co.jp/a/panasonic2013/
3.14 3.19 11:00	Panasonic	3.19 15:00	Web Test	https://square.jp/mypage2013/
3.6 3.11(締切)	富士通	3.7 12:00	テストセンター	https://d-myaike.jp/manabi/
3.17	丸紅	3.19 15:00	テストセンター	https://mitsubishi-electric-saiyo.jp/2013/default.php
3.13	三菱電機	3.14(必着)		https://www.casrvice.jp/c/mitsubishi-motors/2013/?id=4af762e028
3.26	三菱自動車工業株式会社	3.30 17:00		http://film-i-web.jp.com/tech2013/default.php
3.22	富士フィルム	3.23 18:00		https://www.s2z.jp/br/bridgestone2013/
3.14	ブリヂストン	学校推薦		http://recruit.nissan-careers.com/
2.27	日産自動車	3.1	Web Test	https://bbaxol.jp/13/s/suzuki/mypage/login
4.13	スズキ(株)	4.13		https://r-ship2.jp/2013/suzuki/login/
3.13	いすゞ自動車	3.14		https://mypage.011-i-web.jp.com/2013/
2.23	東レ	2.23		https://working.nri.co.jp/2013/index.php
3.7	ES 三日 野村総合研究所	3.7	テストセンター	https://www3.tiac.co.jp/es2013s/2611000/mypage/LoginMP.jsp
2.29	2.29 村田製作所	2.29 3.11 3.23	Web Test	https://bbaxol.jp/13/s/ivo/careers/mypage/login
2.25	京セラ	2.22 2.9	Web Test	http://nicohsaiyo.jp/2013/default.php
3.7	3.16 14:00 コー	3.8	テストセンター	

ES提出 企業名 ES締切 Web Test種類 My Page URL ID / Password

エントリーシートやWeb Testの締切の管理が大変ではあるが、Excelに入力しておけば並べ替えて現在の状況や今後のスケジュールを、いつでも把握することができる。

この他にも、面接が始まると必要になってくるのが時間のマネジメントだ。同じ日に2つ3つと面接が入るようになると、日程のやり繰りが大変になる。その時には次のような管理を推奨している。

例4 スケジュール管理（日程）

4月 2012

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	Sunday
2	3	4	5	6	7	8
	ANA 一次面接 オムロンソフトウェア 一次面接 パイオニア 一次面接		TIS 一次面接	IBM 一次面接 HITACHI 一次面接	TOSHIBA 一次面接	HONDA 一次面接 パナソニック 一次面接
9	10	11	12	13	14	15
トヨタ 一次面接	ディスコ 説明会・筆記試験 KDDI 一次面接	ブリヂストン 最終(推薦) オムロンソフトウェア 二次面接	ローム 説明会・筆記試験	ヤマハ発動機 一次面接		
16	17	18	19	20	21	22
	パイオニア 二次面接	KDDI 二次面接				
23	24	25	26	27		
ヤマハ発動機 二次面接		パイオニア 最終				
30						

面接が3つ
⇒実力が発揮できない

一次面接の時期は
過密スケジュール

一次面接を通過後、
すぐに二次がある。

例4の学生は同じ日に3つ面接を受けたが、2つ面接を受けた時点で疲れてしまい、3つ目の面接では実力が発揮出来なかったという。2013年卒から2015年卒の就職活動では、1次面接の時期が過密スケジュールであった。2016年卒からは更に厳しくなることが予想される。

3.3.3 金銭面

首都圏などの主要都市に住んでいれば問題ないが、地方都市の大学で学んでいる外国人留学生は就職活動のたびに交通費や宿泊費がかかる。最終面接など、一部は企業が出してくれる場合もあるが、説明会から内定までを考慮するとかなりの額になる。そのためにも大学が準備している無料送迎バス⁹などの情報を得て、利用するよう促す。

4. 今後の課題

2016年卒の就職活動時期は経団連の倫理憲章により前年度までと比べて大幅に変更された。内定式が10月というのは例年通りなので、それに合わせて選考期間が短くなるとされている。そのためにも万全の準備を整え、3月からの就職活動に臨めるよう、支援する必要がある。

⁹ 本学では「就活支援バス」という名前で、キャリアセンターが統括して運行している。

5. おわりに

これまで指導してきた外国人留学生はパナソニックや花王などの大手企業に就職し、現在は第一線で仕事をまかされ活躍している。指導する際には外国人留学生の良さを引き出し、アピールする力をつけさせる。就職活動を通じて得た力は、実際に様々な場面で応用できるだろう。今後も外国人留学生が日本企業に就職し、グローバル人材として活躍できるよう、支援を続けていきたい。

参考文献

- 池田伸子(1996)「ビジネス日本語教育における教育目標の設定について—文化・習慣についての重要性を考える—」 ICU日本語教育研究センター紀要 5 pp.11-24
- 川邊理恵・西頭由紀子・山田明子(2009)「インターアクション能力の育成を目指したビジネス日本語教育」『2009年度日本語教育学会秋季大会 予稿集』pp. 275-276
- 堀尾佳以(2012) 宇都宮大学留学生センター紀要
「留学生の就職活動支援 -導入教育における活動方法指導および実践-」
- 松原伸夫(2002)「留学生の就職支援の現状と今後の支援施策のありかたについて」 『留学交流』2月号 ぎょうせい pp. 7-9

参考資料

- 外国人留学生のための就活ガイド 日本学生支援機構 <http://www.jasso.go.jp/job/>
- 経済産業省 <http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/>
- JABOON <https://www.jaboon.com/modules/news/index.php?page=article&storyid=43>
- エントリーシート添削道場 <http://ameblo.jp/dotconnector/entry-11404526781.html>